



令和4年(2022)10月22日 第57号

# 高槻・五領の環境と 守る会 News

子どもの未来を



## 防災

### 防災講座、防災訓練 に参加しましょう！

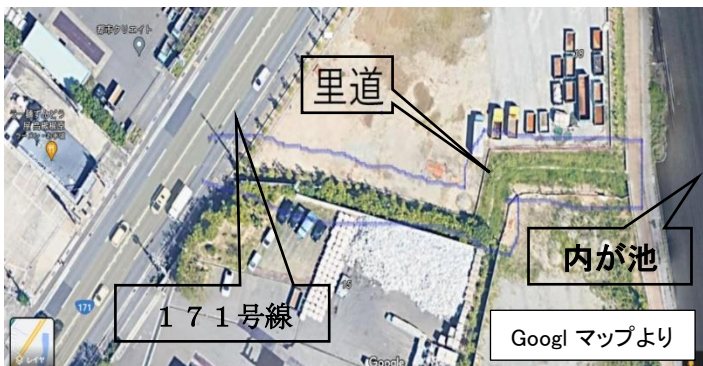
防災の重要性が言い続けられていますが、本当に自ら考え、対応をしていますか。私の避難行動計画(マイタイムライン)を知っていますか。作成していますか。災害時の自助、共助、公助各分野において、安全確保の為にタイムラインに沿って行動することが推奨されています。

高槻市では、「高槻市全域大防災訓練」が、令和5年1月28日(土)に計画されています。これに先立ち、五領地区では、「防災講座」(逃げ遅れゼロに向けて)が、この11月19日(土)、五領公民館において開催されます。防災講座には、11月1日～8日までの間に五領公民館に申し込みしてください。

五領地区防災講座  
11月19日(土)  
10:00～12:00  
場所:五領公民館  
申し込み:五領公民館へ



### 里道 草刈り 実施日決定 11月26日(土)



9月24日実施予定でしたが、雨天の為延期となっていました。里道(内が池横、171号線の間)の草刈りの日程が以下に決定しました。  
11月26日(土)  
9時～現地集合。  
なお、雨天の場合は27日(日)に順延。

## 新名神高速道路(高槻市域) 環境影響について [ 上牧地区 ] について

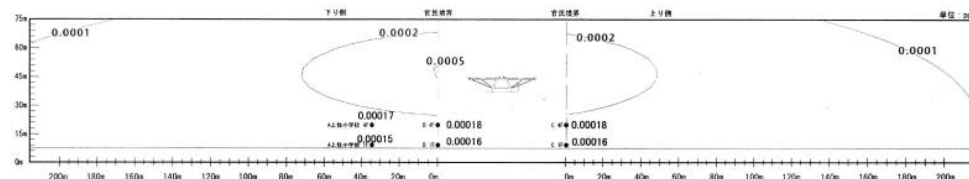
環境影響予測についての疑問

“西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪西事務所・新名神大阪東事務所”が、“新名神高速道路(高槻市域)環境影響について[上牧地区]”という4年9月10日付けの資料を作成し、地域自治会に配布しました。これは、新名神開通後の環境影響予測を行ったものです。項目は、騒音、振動、大気質、日照障害の4項目になっています。

ここでは、私たちがバックグラウンドとして今までに年2回、合計7回測定を続けている、二酸化窒素(NO2)についての疑問を記します。まず、バックグラウンド濃度の設定で、梶原一般測定局の値を参考としています。また、新名神開通による寄与濃度は、0.16ppbと予測しています(下記表参照)。我々の測定データではバックグラウンドとしている梶原局付近と上牧小学校裏門とは、22.3ppbと13.6ppbと大きな差があります。また、過去の測定では、梶原局周辺のNO2値は、他の五領地区住宅地に比較して常に高い値で、これは近傍の名神高速道路の影響と考えられます。これから類推して、新名神の寄与率が、0.016ppbとは考えられません。今回表記されていない、予測のもとになる発生源の数値も知りたいものです。

同様に、騒音に関しても、バックグラウンド数値も発生源の予測数値も記載されていないまま、学校環境衛生基準の55dB以下の54dBとなり、学校環境基準を満足するとの予測です。検討の必要性を感じます。助言いただける方はぜひ連絡を！

### 3-4 大気質予測結果 (上牧地区)



予測高さ	項目	単位	寄与濃度		
			A地点	B地点	C地点
地上11.7m (4階高さ)	二酸化窒素 [NO <sub>2</sub> ]	ppm	0.00017	0.00018	0.00018
地上1.5m (1階高さ)			0.00015	0.00016	0.00016

※寄与濃度とは・・・高速道路が出来る事によって発生する大気質濃度

## 環境 NO<sub>2</sub> 測定 第8回 を実施します。

●実施日 2022年12月1日(木)午後6時～2日(金)午後6時 (24時間測定)

「守る会」は五領地区の環境調査として、今まで7回、NO<sub>2</sub>測定を実施しています。これまでの測定で、五領地区のNO<sub>2</sub>分布がわかってきています。

「西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪西事務所・新名神大阪東事務所」が、「新名神高速道路(高槻市域)環境影響について[上牧地区]」という4年9月10日付けの資料を作成、その中で自動車交通に伴う大気質への影響として NO<sub>2</sub> について評価しています。

この評価結果と「守る会」が続けている NO<sub>2</sub> 測定の結果を比較した場合、評価における寄与濃度の値は低すぎると思われます。新名神の完成時期は、現在の工程表では2027年度末となっており、今後も私たちのバックグラウンドデータとしての測定を積み重ねることができます。道路の場合は一旦開通しますと、バックグラウンドデータは2度と計測することは不可能です。

上牧・鶴殿の葦原

## つる草抜き

ヨシ原通信より 抜粋

9月の「つる草抜き」(9月26日～30日)も終えて、4月10日から始めました「つる草抜き」は、4月/10日間 5月/8日間 6月/2日間 7月/8日間 9月/5日間 合計45日間、延べ参加人数1248名の方々のご協力でヨシの再生への第一歩を踏み出せたように思います。9月27日、ヨシは4m～5mに育ち、穂も濃い茶色になっています。

14-Cから堤防側(14-D)は、つる草に押し倒されています。つる草の下には、押し倒されたヨシが枯れています。ここも6月頃まではヨシも伸びていましたが、7月、8月とカナムグラやヤブガラシが、ヨシを押し倒してしまっただけです。「つる草抜き」の区画以外はほとんどこのような姿になっています。「つる草抜き」をしなかったら所は、昨年同様ヨシは押しつぶされています。

秋の空に葦牙(あしかび)から育った葦が沢山の穂を付けました。今年はこれで終わりとしました。来年も引き続き「つる草抜き」に取り組んでいきます。来年の準備を進めているところです。

来年もよろしくお願いいたします。



ヨシの穂です。穂にはたくさん花・実がついて頭を垂れています。太陽をたくさん浴びて光合成が盛んにできた証拠でもありますね。

五領・鶴殿写真情報

2022年10月19日他

撮影：大倉清教氏

大倉氏は淀川河川敷の鳥を中心に五領地区の自然を撮影しておられます。氏のホームページには毎日のように写真が掲載されます。

以下の写真は、氏の Facebook より主に鳥の写真を転載させて頂いております。

ホームページ：<https://www.facebook.com/Kiyonori.Ookura>



ゴイサギ



小川では、キセキレイが水遊び



ダイサギ



イソヒヨドリ



カルガモ



エゾムシクイ

発行：高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表：上田 博夫

住所：〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内

電話番号：090-2283-1619 (村井)

ホームページ：<https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdofree.com/>

編集部：西日本高速道路(株)作成の環境影響評価・上牧地区(令和4年9月)を見る事ができました。騒音、振動、大気質の評価の場所は上牧小学校でされています。この資料には、発生源の予測数値も、現状バックグラウンド値の測定もされていません。予測結果では、すべて基準値以下とされています。検討、交渉の必要性等、助言いただける方の連絡をお待ちしています。

次回「守る会」定例会は11月26日、第4土曜日

15:00～17:00、上牧公民館(上牧町本澄寺前)で開催します。

連絡は、事務局村井(masa569@tcn.zaq.ne.jp)迄